

様式第3号（第7条関係）

会議録

1 附属機関の会議の名称

第1回水戸市水道事業及び下水道事業審議会

2 開催日時

令和6年6月24日（月） 13時30分から15時05分まで

3 開催場所

水戸市役所6階 水道部会議室

4 出席した者の氏名

(1) 水戸市水道事業及び下水道事業審議会委員

角田恒巳、木村和江、宮田清、高野賢、鹿倉よし江、山岸和人、久保朋央、渡辺潤、太田恵美、馬渡剛、荒井栄、菊池みち子

(2) 執行機関

高橋靖、園部孝雄、

[水道部] 坂貴之、梶山哲、杉山健一、畠岡正彦、松村透、川野輪俊光、林忠勝、廣瀬新、折本秀明、勝山暁文、山崎貴大、宮本龍之介、鳴海大二郎、養田翼

[下水道部] 松葉光隆、大谷俊、中藤崇、竹内文哉

5 議題及び公開・非公開の別

(1) 水戸市水道事業の概要について（公開）

(2) 水戸市水道事業経営戦略の取組状況（公開）

(3) その他（公開）

6 非公開の理由

適用なし

7 傍聴人の数（公開した場合に限る。）

1人

8 会議資料の名称

(1) 第1回水戸市水道事業及び下水道事業審議会次第

(2) 水戸市水道事業及び下水道事業審議会委員名簿

(3) 水戸市水道事業の概要

- (4) 水戸市水道事業経営戦略の検証
- (5) 水戸市アセットマネジメント 2025 (案)
- (6) 収支試算（令和 7 年度～21 年度）
- (7) 水戸市水道事業及び下水道事業審議会スケジュール
- (8) 質問書の写し

9 発言の内容

執行機関 本日はお忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。ただいまから、第 1 回水道事業及び下水道事業審議会を開催させていただきます。まず最初に、年度が変わったことに伴いまして、人事異動や役員改選により、審議委員の変更がございましたので、御報告いたします。_____ 委員から _____ 委員、_____ 委員から _____ 委員となっております。お二方につきましては、今回の審議会が初めてとなりますので、簡単で結構でございますので、自己紹介をいただきたいと考えております。_____ 委員よりよろしくお願ひいたします。

_____ 委員 みなさんこんにちは。よろしくお願ひいたします。

_____ 委員 _____と申します。この 4 月に着任いたしまして、前任の _____ から私 _____ が務めさせていただきますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

執行機関 ありがとうございました。それでは、次第に基づき、進行させていただきます。初めに、高橋靖水戸市長より御挨拶申し上げます。

市 長 みなさんこんにちは。大変お忙しい中、水戸市水道事業及び下水道事業審議会に御出席いただきまして、誠にありがとうございます。また、何かと本市の行政運営全般にわたりまして、大変な御理解と御協力をいただいておりますことにも心から御礼と感謝を申し上げる次第でございます。これから 2 本質問をさせていただきたいと思いますが、皆様方には忌憚なき御意見を頂ければと思っております。

上下水道事業につきましては、私が言うまでもなく、市民の生活にとって一番身近な社会インフラでございます。私たちは、持続可能なそして安心安全な事業をしっかりと展開をしていかなければなりません。そのために、バックグラウンドとなる施設を整備していく必要があるとともに、市民と行政の役割分担をしっかりと適正化していくなければならないと思っております。

いずれにいたしましても、災害リスクが高まっているところでございまして、1 月 1 日には能登半島の地震が起こって、水戸市も応急復旧の支援をさせていただいたところでございます。引き続き災害への備え、強靭化というものはしっかりと視野に入れながら万端の準備をしておかなければならぬと思っています。また、これは他人事ではなく、先般、隣町の大洗町で二日間ほど水道が全世帯で断水をしてしまいました。

た。水道管の老朽化が要因でありますと、二日間も水道が断水してしまうということは、市民生活ばかりではなくて、事業者、経済活動の方にも大きな影響が出てくるということです。しっかりと私たちも耐震化を進めるとともに、老朽化についても整備を行っていかなければなりませんと思っています。

上下水道事業とともに、公共政策の典型的な事業でございまして、第一は、私たち公共団体いわゆる市町村が責任を持って、経営基盤をしっかりとし、財源を確保して、そして整備に充てるという好循環を作っていくかなければなりません。まさに公共政策の理念でございます。ただ一方で受益者負担という原則もございまして、この公共政策という私たちの責任、そして受益者負担という市民の皆様方の役割、責任、この分担割合をどのように分け合っていくかということをしっかりと構築していかなければなりませんと思っています。一番は私たちの努力でございまして、経営の効率化を図ったり、あるいは財源の確保を図ったり、政策実現を図ったりして、健全化を図っていかなければなりません。しかし、どうしても人口減少、超高齢社会という中で、水戸市も商売の売上が減ってきててしまいます。この売り上げが減っているところの手当を誰が負担をするのか、税金から投入するべきであるのか、それとも応分の市民の皆様方に負担を求めるべきであるのか、その役割分担は何パーセントずつであるべきなのか、正直申し上げて答えはございません。答えは、私たちの様々な経験、知見から政策判断をさせていただいたり、あるいは委員の皆様に議論をしていただいて、適切・的確な割合だろうという御意見や御提言をいただいたりした中で、最終的な判断をしていかなければなりませんと思っています。

特に水道事業は、色々な決まりがございまして、水道を供給する地域を拡大することはやってやれないことはないのですけれども、隣の市、町に水道を売り込んで、うちの水道を使ってくださいと、こちらの水は甘いぞ安いぞといって、商売を拡大することはできなくはないのですけれども、普通のいわゆる自由経済社会の中で行っている商売のような形で商売を広げていくということはできないものでございまして、基本的には、水戸市に住んでいる 267,000 人を対象にした商売をやっていくしかありません。人口減少であったり、高齢化であったり、あるいは節水機能のある資機材が住宅で導入されている中で、売り上げが減っています。その売り上げが減った分をどのように賄っていかなければならぬのか、私たちも一番努力して、とにかく雑巾が一滴も絞りだすことができなくなるまで、とにかく絞りに絞って人員体制も相当効率化を図っております。このような中でも、市民の皆様方に負担を求めなければならない時もでてきます。この判断をどのようにしていくかということも皆様に忌憚なき御意見をいただきかなければならぬと思っています。

下水道事業でも同じでございまして、人口が減れば、下水道の収入も減ってくるということでございます。接続のないところに接続をしていただいたりといった努力をしていかなければならぬのですけれども、公共政策と受益者負担という割合、分担どれが一番適切なのか審議会の皆様方に色々と御議論をしていただかなければならぬと思っております。

一番市民に喜ばれる、期待されていることは、とにかく料金改定、値上げは行わず、

私たちが一般会計からルール外の繰入を行っていくことだと思っております。しかし、私たち財政部門は全体的な俯瞰をしていかなければなりません。特に今競争のごとく行われている子育て支援政策のほうに相当お金がかかりまして、給食費を無償にする、医療費を無償にする、保育料を無償にするといったチキンレースみたいなことが起こってしまっております。とにかく子育て支援にお金がかかっております。これを全部行うと 20 億円程度かかるのですけれども、子育て支援とか、高齢化社会に向けた民生費とか、扶助費とか、そういった福祉にかかるお金が上がっていく中で、限られた財源でありますから、上下水道の方に一般会計から繰入することには限界がありますし、制約がされているということあります。なかなか回すお金がないという中で、どのようにしたら良いのか、色々なことを私たちは考えていかなければならぬと思っています。私が言うと料金改定をしてほしいと聞こえるかもしれません、一番の努力は、私たちがしっかりと経営基盤を確立するための効率化を図っていくことです。とにかく絞りに絞って雑巾が乾ききるくらいに絞った中で、しっかりと経営基盤を強化するための努力をしていくということは当然やっていかなければなりません。しかし、それだけでは難しいというところがございます。委員の皆様方に色々御議論いただいて、より良い方向、ベストではないかもしれません、ベターな答えを導き出して、合理的な選択をどのようにして行くことが良いのかという忌憚なき御意見をいただけたらと思っております。

この後、2本諮問をさせていただきたいと思いますが、委員の皆様方には、慎重審議かつ活発な御議論をいただきまして、よりよいビジョン作り、あるいは経営方針を打ち立てて行きたいと思いますので、御協力の程よろしくお願いを申し上げまして、少し長くなりましたが、御挨拶と代えさせていただきたいと思います。_____会長を中心には皆様方の御活躍とそして活発な御議論を期待いたしまして、御挨拶に代えさせていただきたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。以上です。

執行機関 続きまして、水戸市水道事業及び下水道事業の経営基盤の強化につきまして、更に、水戸市水道ビジョンにつきまして、市長から諮問いたします。恐縮ですが、市長及び会長は前の方へ移動をお願いいたします。

委員の皆様には、お手元に諮問書の写しを配布してございますので、御参照ください。

市長 水総第 26 号令和 6 年 6 月 24 日水戸市水道事業及び下水道事業審議会様、水戸市長高橋靖。水戸市水道事業及び下水道事業の経営基盤の強化について、諮問。水戸市水道事業及び下水道事業審議会条例第 2 条の規定に基づき、下記の通り、諮問いたします。記、1 水道事業の中長期的な財政の見通しである投資・財政計画、2 下水道事業経営戦略第 2 期を踏まえた下水道使用料の改定。どうぞよろしくお願ひいたします。

(市長から_____会長へ諮問書交付)

市長 水総第27号令和6年6月24日水戸市水道事業及び下水道事業審議会様、水戸市長高橋靖。水戸市水道ビジョンについて、諮問。水戸市水道事業及び下水道事業審議会条例第2条の規定に基づき、下記の通り、諮問いたします。記、1 水道事業の基本的かつ総合的な指針となる水戸市水道ビジョン。どうぞよろしくお願ひいたします。

(市長から____会長へ諮問書交付)

執行機関 ここで、市長につきましては、公務がございますので中座させていただきます。
それでは、議事に先立ちまして、本日の資料の確認をさせていただきます。本日配布させていただいた「次第」、「審議会委員名簿」、「水道事業の概要」、「経営戦略の検証」、「アセットマネジメント2025(案)」、「収支試算」、「今後のスケジュール」、「諮問書の写し」になります。また、参考資料としまして、「水戸市水道事業基本計画(第3次)」、「水戸市水道事業経営戦略」、「令和4年度水道事業年報」をお配りしております。以上となりますが、皆様お揃いででしょうか。

それでは、資料の確認ができましたので、出席委員の確認に移らせていただきます。会議開催にあたり、水戸市水道事業及び下水道事業審議会条例第6条の2項の規定により、本日の出席委員は12名でございますので、定足数に達してございます。それでは、次第に基づきまして、進行を____会長、お願いいたします。

会長 はい、それでは審議を進めさせていただきます。本日の署名は、_____委員、
_____委員にお願いいたします。どうぞよろしくお願ひいたします。
それでは、議事に入らせていただきます。本日の議事の進め方ですが、次第にもございますように、(1)「水戸市水道事業の概要について」(2)「水戸市水道事業経営戦略の取組状況」、(3)「その他」という内容になっております。

先ほど、水戸市水道事業及び下水道事業の経営基盤の強化について、また、水戸市水道ビジョンについて諮問がなされたところでございます。審議を進めるにあたり、現在の水道事業経営等がどのような状況なのか、委員の皆様が共通認識として把握する必要があると考えているところです。そこで、次第の(1)において、まずは「水戸市水道事業の概要」について事務局から説明し、続きまして、次第(2)「水戸市水道事業経営戦略の取組状況」について、審議という流れで考えているところでございますが、よろしいでしょうか。

委員 異議なし

会長 では、そのようにさせていただきます。まずは、議題の(1)から、資料②「水戸市水道事業の概要」について、事務局より説明をお願いいたします。

(事務局説明)

会長　ただいま、事務局より説明をいただきました内容について、御質問、御意見等ございますでしょうか。

(意見等なし)

会長　では、次の議題に移らせていただきます。(2)となります。まず初めに資料③「水戸市水道事業経営戦略の検証」について、事務局より説明をお願いいたします。

(事務局説明)

会長　ただいま、事務局より資料③に基づきまして説明がございましたが、御質問、御意見等ございますでしょうか。

____委員　27ページの将来予測に関することなのですが、経営戦略よりも収入は多く入ってくる見込みであるということでおよろしいでしょうか。

会長　確認ですが、経営戦略では、コロナ禍を予測することができなかつたわけですから、経営戦略と比べ、現在に至るまでは、使用水量も収入も含めて上回っている状況であります。なかなかここまで予測をすることはできないところでございますので、コロナ禍を踏まえて今後どう予測するかということです。他にいかがでしょうか。

____委員　2点質問がありまして、耐震化の話と収支の話になります。経営戦略の検証の11ページに耐震化率が目標として掲げられおり、着実に進められているところですが、優先度的なものはどのように考えられているのかが1つ目の質問です。例えば、小中学校や避難所等を優先度を高くして耐震化を進められているなどありますでしょうか。

執行機関　ただいまの御質問に答えさせていただきます。優先度につきましては、先ほど____委員がおっしゃられたとおり、避難所と液状化範囲に入っている部分の耐震化が図られていないものを優先的に更新をしております。更に、水戸市の災害対策本部となるこの本庁舎と配水池間の配水基幹管路等を集中的に整備している状況でございます。

____委員　耐震化については、市民向けに計画としてやっていくことをお示ししていますでしょうか。

執行機関　まだ細かくはお示ししておりません。

____委員　着実に整備はされていますし、今後のビジョンの策定の話になるとは思うのですが、

水道事業、下水道事業もそうですが、市民のみなさん今水道、下水道を使っているので、なんで工事が必要なのか説明に御苦労されているかと思います。そのときに、市民目線でこのような観点で工事が必要ですといったことが出てくると良いと思います。内部の資料としてはこれでよろしいかと思います。

もう1点が収支に関してです。経営戦略の検証の20ページで令和2年からの5年間で修繕工事等にかかる費用が減少したため収支が良い方向に転んだということなのですが、最近、令和2、3年度以降で人件費や労務単価、材料単価の高騰があり、費用は増えていると思いますが、その影響はまだ出てきていないのでしょうか。

執行機関 _____ 委員のおっしゃるように、確かに物価高騰や人件費の高騰は生じております、37%程度上昇しております。しかし、全体としましては、修繕工事の件数が大幅に減少しております、漏水に関しては、年間500件程度あったものが、300後半の400件弱程度まで減少しております。更に、今回大規模工事を行っている関係で継続費を組んでおります。財政計画上では、単年で減価償却費を年間20億程度、固定資産除却費を年間5億程度、見込んでおりましたが、長期の工事になると、資産を完成後に除却したり、計上したりしますので、事務処理の関係で財政計画と比べ減価償却費や固定資産除却費の発生が1、2年遅れています。資産の除却や計上のタイミングがずれ込んでいる関係で収支に影響が出ている部分もあります。御指摘のとおり、物価高騰はございますが、それ以上に費用の方が削減されている状況でございます。

委員 _____ 今後、物価が好転する見込みはかなり厳しいと思います。そのような中で、令和2年度に11%という結構な値上げ幅だと思うのですが、料金改定を行い、市民はしばらくは料金の値上げはないと考えているところだと思います。これからきめ細かい試算を行うと思いますが、料金改定が必要なときには、その理由の内訳を分かりやすく、必要なときに示していくと、より市民の皆様の理解が深まると思います。決して明るい状況ばかりではないと滲みだす必要があるという意見です。以上です。

会長 他にいかがでしょうか。

それでは、ただいま事務局から説明があった経営戦略の検証について、ここで一度整理させていただきます。

水戸市水道事業は、令和2年度の経営戦略策定の際に、令和元年度当審議会の答申を踏まえ、目標指標（投資）、財政指針が適切に設定されていることを確認しました。

その上で、まず、目標指標（投資）のうち、口径500mm以上の管路の耐震適合率については、1年遅れはしたものの目標を達成し、そのほかの項目についても、目標達成に向け、着実に進捗していることを確認しました。

次に、財政指針のうち、アセットマネジメントにおいて算出した事業費を確保することについては、入札差金や工事の見直しなどにより事業費は減少したもの、実施すべき事業は着実に実施されていることを確認しました。企業債については、5年間で償還金の124.2%と目標の127.5%に達しませんでしたが、事業に合わせ、計画的

な借入に取り組んでいることを確認しました。建設改良積立金については、台風被害に対して一時的に活用はしたものの、目標どおり、約8億円を維持したことを確認しました。

投資・財政計画については、人口減少に伴い、給水人口は減少傾向であるものの、コロナ禍の影響のため水需要構造が変化し、水道料金収入が伸びたことなどにより、令和6年度末時点の資金残高が経営戦略と比較して約16.7億円増加する見込みであることを確認しました。

最後に、将来予測ですが、近年の実績を捉え、給水人口の減少傾向は続くものの、有収水量及び水道料金収入は経営戦略よりも増加する見込みであることを確認しました。

以上6点になりますが、このような形で整理するということでおよろしいでしょうか。

委 員 異議なし

会 長 それでは、このような形で整理させていただきます。約50分経っておりますが、切りの良いところですので、10分間の休憩とさせていただきます。

(休憩)

会 長 少し早いですが、お揃いのようですので、再開させていただきます。

続きまして、資料④「水戸市水道事業におけるアセットマネジメント2025（案）」について説明をお願いいたします。

(事務局説明)

会 長 ただいまのアセットマネジメントに関して、今後投資・財政計画に反映していくこととなります。御質問、御意見等ございますでしょうか。

(意見等なし)

会 長 アセットマネジメントを繰り返すことにより、段階的に精度をあげていくことが趣旨となります。よろしいでしょうか。それでは、御意見等ございませんので、今後につきましては、アセットマネジメント2025による事業費の算出結果を投資・財政計画へ反映するということにさせていただきます。このような形で整理させていただきます。

それでは、引き続き資料⑤「収支試算」について説明をお願いいたします。

(事務局説明)

会 長 ただいま、事務局より収支試算の説明がございましたが、今後の社会情勢を踏まえ

て、4年間水道料金を据え置きたい、また、料金算定期間を5年間から4年間にしたいという考えが示されました。委員の皆様方から御質問、御意見等ございますでしょうか。

____委員 事務局から4年間水道料金を据え置くという話でしたが、4年間水道料金を据え置いたとして、施設の更新等を順調に進められるのでしょうか。

会長 今の懸念事項に関しまして、事務局より御回答をお願いいたします。

執行機関 今の____委員の御質問でございますが、アセットマネジメント2025でも試算しておりますが、今後、令和10年までの投資につきましては、経営基盤の醸成を図りながら、対応していくと見込んでございます。水道料金につきましても、コロナ禍で年間1.5億円程度、2、3%程度料金収入の水準が高くなっていますので、その原資等を使いながら予定事業は見送ることなく、しっかりと実施していくと見込んでおります。

____委員 わかりました。物価高ですので、更新を行っていただき、安定した経営を行っていただければ、今回の提案には賛成いたします。

会長 はい、御意見確かに承りました。他にいかがでしょうか。

____委員 主婦の目線として、蛇口を捻って出てくる水道が皆さんのお苦労のもと、大変なお金がかかっていることがよく理解できました。単純なのですが、主婦としては、生活にも密着している水道料金は安い方が非常にありがたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。以上です。

会長 これに関しましても確かに承りました。他にいかがでしょうか。

____委員 限られた時間ですので、十分な議論ができないかと思いますが、水道や下水道、道路等は、社会の生活、経済活動を支える基盤であります。高齢化社会や少子化社会において様々な問題が今、日本では、散見されることかと思います。水道や下水道に関しても、今後、維持管理に関して大変厳しい状況になってくると思います。その厳しい状況が收支試算の資金残高のマイナスに大きく現れていると思います。このような厳しい状況に際して、管理している自治体、並びに使用している一般市民がこれからどのような選択をしていくのかが大変重要になってくると思います。先程、市長が都市間競争を行っていて、チキンレースになってしまっているとおっしゃられていましたが、子どもさんの給食費等の色々な費用を安くしないと水戸から出て行ってしまうことがあります、そうすると今度は水道等の基盤設備のメンテナンス等のお金がなかなか出せなくなり、質が悪くなったりします。現に今、日本では、過疎地域の方々

に水道が供給できないといった状況になってきています。何十キロ先に今まで数千人住んでいた集落、村落が、数十人になってしまい、老朽化した管の更新がままならず、水道が供給することができないといったことになります。水道が止まると生活ができなくなりますから、結果的にはその集落、村落はなくなっていくという現象が中山間地域において起こっていると思います。このようなことが都市域でも起こるのではないかと考えています。つまり、郊外には団地があったが、人口が減っていき、高齢化していき、水道の使用量がなくなり、財源が減ってくる。結果的には、十分な水道が供給できない、あるいは管が悪くなれば水道の質も悪くなり、相対的な生活の質がダウングレードしていきます。そのような将来に向かって、じわりじわりと日本の地方都市をとりまくインフラの環境は、決して明るくないどころか、かなり暗い状況になっていくのではないかと思います。輪をかけて、日本は世界で類を見ない、都市化社会です。東京一極集中、これほど都市化が行われている都市は世界でもなかなかないわけです。このような中で、地方都市はどのようにしていくのか、その最も大事な水道インフラの財源のあり方については、もっと時間をかけて真剣に議論をするべきではないかと思います。一方で、この水、水戸の水といって、上から読んでも水戸の水、下から読んでも水戸の水なのですけれども、水戸の水を売っていくことも財源を確保していく上では、大変重要ではないかと思いますし、日本の水というのは、世界の中でも極めて品質がクオリティーが高いと思います。これから総合的なことを考えて、水の総合政策といったものを都市政策の最も重要な一環として位置づけてこれからやるべきではないか、また、そのような議論をもっと広範にすべきではないかと思います。

会長　　はい、御意見ありがとうございます。

委員　　会長どうでしょうか。

会長　　一般論としてはそのとおりだと思います。

委員　　これに関しては、どのような方向性があるのでしょうか。

会長　　国家レベルの話でありまして、おっしゃることは分かります。

委員　　大変大きな問題だと思うのですけれども、どこかの団地にもう居られなくなってしまうかもしれない。それが近い将来起こるかもしれない。そういうことはみんなで議論すべき問題だと思います。

会長　　特に、水道管は目の見えないところにありますので、老朽化も含めてなかなか理解をしにくいという中で、色々な自治体が水道のサポートを増やすために色々な事をやってもらっています。すみませんが、この場では、今の話の着地点をなかなか見つけることができないところでございます。ただいまの委員のお話は、市の方で進め

ております、今後4年間の水道料金の部分的な話ではあると思うのですけれども、基本的には、特に大きな異論があるというようなことではないと思います。これに関しては、国家的な問題ということもございますので、本当に色々気づかれるところだと思います。

他にいかがでございましょうか。よろしいでしょうか。それでは、ただいま、事務局の説明がございましたが、一度整理させていただきます。人口・水需要の将来予測、アセットマネジメント2025の事業費を反映させ、現在の料金体系で収支試算を行うと、令和10年度までは安定的に経営ができる見込みであります。ただ一方で、市民負担を考慮して、4年間水道料金を据え置き、今後は4年ごとに料金水準を検討します。そして、社会経済状況の変化等によって、料金を見直す必要がある場合には、料金算定期間を待たずに料金水準を検討するという形で整理させていただきたいと存じますが、よろしいでしょうか。

委 員 異議なし。

会 長 では、異議がなかったということでございますので、そのようにさせていただきます。

最後に事務局より議題の（3）になりますが、御説明何かございますでしょうか。

執行機関 慎重な御審議ありがとうございました。また、今回お示しした収支試算につきましては、収支の均衡が取れていない状況でございますので、次回の審議会におきまして、4年間据え置いた後、どのような財政規律であれば収支が均衡できて、投資・財政計画として成り立たせることができるのかお示ししたいと考えております。

お手元の資料⑥水道事業及び下水道事業審議会スケジュールを御覧ください。次回の審議会でございますが、以前お送りした通知では、7月16日（火）と予定しておりましたが、委員の皆様の負担を考慮いたしまして、審議の日程をまとめさせていただいた結果、8月5日（月）14時から開催させていただきます。場所は変わりまして、水戸市役所3階 会議室303で行いたいと思います。また、遠方の方もいらっしゃいますので、次回よりweb会議形式での参加もできるように準備を進めているところでございます。詳細については、追って通知をさせていただきますので、よろしくお願ひいたします。

次回の審議内容といたしましては、本日の審議を踏まえました「水道事業に係る投資・財政計画」及び昨年度策定いたしました下水道の経営戦略を踏まえた「下水道使用料の改定」についてお諮りしていきたいと考えております。以上でございます。よろしくお願ひいたします。

会 長 ただいま説明がありました今後について、スケジュールに関してでございますが、何か御質問はありますでしょうか。よろしいでしょうか。では、次回につきましては、8月5日（月）14時から「投資・財政計画」、「下水道使用料の改定」についての

議論を諮りますので御準備の程よろしくお願ひいたします。審議は以上でございます。
お暑い中、お集まりいただきまして、誠にありがとうございました。以上になります。

執行機関　　ありがとうございました。最後に事務局より御連絡させていただきます。駐車券について、認証印を押されていない方につきましては、審議会終了後、事務局までお申し付けください。お帰りの際には、市役所1階の総合案内で無料化の手続きをしていただければと思います。また、差し支えなければ、冊子等重いものはお持ち帰ると大変ですので、置いていかれても大丈夫でございます。以上をもちまして、第1回水戸市水道事業及び下水道事業審議会を終了いたします。長時間に及ぶ御審議、ありがとうございました。